
■ さろん | Mail News 2018/1/1 | #106 ■ 【イベント号】

ご案内不要の方はお手数ですがこのメールにそのままご返信ください。

哲学カフェ及び関連イベント情報をお送りします。みなさんの興味・関心の一助としていただくとともに、今後とも「さろん」を応援いただければ幸いです。

なお、このメールニュース掲載のコラム等は執筆者の個人的な考えを表したものです。会や専門領域における統一見解や事象を扱っているものではありません。予めご了承ください。

=====Vol.106 2018年1月1日(月)=====

さ | ろ | ん |

— | — | —

M | a | i | l | N | e | w | s |

— | — | — | — | — | — | — | —

<http://salon-public.com/>

(バックナンバーはHPからご覧いただけます)

<https://twitter.com/salontetsugaku>

<https://www.facebook.com/salontetsugaku/>

☆☆☆ A Happy New Year 2018!! ☆☆☆

【さろんスタッフより 新年のごあいさつ】

Best wishes for a Happy New Year 2018...

May the New Year bring you more happiness and joy.

=====

2018年を迎えて

あけましておめでとうございます。正月三が日を皆様どのように過ごされているでしょうか。2018年の門出にあたり一言ご挨拶申し上げます。弊会では対面の集いだけでなく、メールニュースを媒介として読者と交流をしているため、参加者の方々と弊会との関わり方には様々な形態があります。旧年中は、弊会の活動に直接ご参加頂き、また、様々な間接的な形態でご興味・ご関心、ご支援を賜り、スタッフ一同深く感謝致しております。

私の場合は、元日に家族・親戚が集まり、お節料理を肴に宴会をしました。そんな会話の中で義弟妹が何気なく発する政治的な言明、甥や姪が抱える日常の悩み等に触れたとき、普段哲学対話で発する「なぜ?」「本当?」等の質問を投げたい衝動に駆られましたが、控えました。私にとって、家族や親戚の間での元日の歓談は何を言っても許される場とは思えなかったためです。改めて哲学対話が恋しく、自分には大切であると発見しました。皆様にはそのような経験はありませんか?

弊会は、本年もできるだけ長くこの活動を続けて行くことを念頭に、一層の思考と対話の深みを目指して集いを企画して行きたいと考えています。普段の職場や家庭等で語り難いテーマについて考え、対話をする場として本年もぜひご活用頂き、一層ご高配を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。末筆になりましたが、本年が、皆様、および皆様のご家族にとって幸多き一年となることを心よりお祈り申し上げます。

さろん代表 堀越

あけましておめでとうございます。

さろんのホームページ冒頭にはこんな言葉が掲げられています。

「さろんでは、思考と対話を真ん中に据えた、誰もが参加できる様々なイベントを催しています。」自分の日常を振り返る度、そして様々なニュースを耳にする度、「思考と対話」が軽視されているのではないか、という危惧を覚えます。

どうして肌の色が異なる人間を差別することは良くない事なのか。

自他の「区別」と「差別」はどう違うのか。二つの概念の境目は常に固定されているのか、或いは絶えず移動しているのか。

70億人以上の人間がひしめくこの星で互いの違いを認識し、認め合うこと。

さろんが対話の実践を通し、対話それ自体について皆様一人一人が考えを深める一助となれば、これに勝る喜びはありません。本年も宜しく願い致します。

楠本

明けましておめでとうございます。

本年もどうぞよろしくお願い致します。

巷ではしいたけ占いが話題なんですって。

ご存知ですか?

<https://voguegirl.jp/horoscope/shiitake2018-h1/>

意欲的・本質的・継続性・永続性・新しさ・懐かしさ・明るさ・調和・進歩・創造的・共感的・危機意識……。

自己変容の可能性、可謬性の獲得、立場の入れ替え、想像的な同一化、課題解決能力、文学的なメタファー、共通了解志向型の態度……。

ペースを落とさない／だれとでも上手くやる／飽きちゃいけない／内側を見つめる時間／がっかりさせない期待に応えて素敵で楽しい……。

知らずしらずのうちにじぶんが「善し」とする価値観ができあがってしまうんだけど。

それをぜんぶ剥いで脱いで括弧で括って水に沈めて。

それでも浮かび上がって来たものだけを目印にして歩き出してみたいと思います。

こころをはだかに。いろんなどころへ、いろんなどくと。

セリザワ

さろん哲学の進行を、代表の堀越とともに務めておりますのです。

昨年にご参加いただきありがとうございました。

今年も引き続きさろん哲学を開催する予定ですので、皆様のご参加をお待ちしております。なお、お陰様で、既に 40 回程進行を務め、手持ちのお題案のストックが大分無くなり、テーマをひねり出すのに苦労しております。

こういった対話をしたいといったご要望がございましたら出来るだけ対応いたしますので、お気軽にご連絡願います。今年も対話をお楽しみいただけますように、工夫していきたいと思っておりますのでご期待ください。

のだ

新年おめでとうございます。

昨年は難しい出来事が多く、私にとって試練の年だったように思います。自分のあり方を問い直すことを絶えず迫られるような日々でした。だからこそ古い殻を破ろうとして、新しい対話の機会に積極的に参加した一年でもありました。

いろいろな人の、いろいろな言葉に出会いました。つらい状況のただなかにいる人が静かに語る悔恨。堂々巡りの悩みに明るい突破口を開くような、ナンセンスな言い回し。切実な願いをまっすぐに語る、てらいのなさ。他者からの理解や賞賛を求めためではなく、自分で自分を把握するための、注意深い観察に基づいた言述。

私にとって大切な対話の場が増えたことを嬉しく思いながら、そうやって得た視点や感触を持ち帰って、活かしたいと願う場はココ↓なんだ、と改めて実感します。

今年も「さろん」をよろしく願いいたします。

やぎ

(以上到着分。スタッフ名五十音順)

ご報告： さろんスタッフ退任のお知らせ (たなかさん)

一昨年6月に弊会スタッフに就任し、これまで運営に取り組んで頂きました、たなかさんがご自身の都合により昨年12月をもって退任しましたことをご報告します。たなかさんには、弊会発行のメールニュースにおいて「コトバをハーバリウムする」欄や「アーカイブの遊歩道」欄などの執筆を担当して頂き、また、運営面でも弊会の電子アーカイブ整理等に尽力を頂きました。彼女が抜けた穴は大きいですが、当面は残ったスタッフでカバーし合いながら、今後の活動に取り組んでいきます。今後とも尚一層、弊会活動に対して興味・関心をお寄せ頂き、またお時間の許す限りご参加を頂ければ幸いです。

さろん代表 堀越

INDEX

【謹賀新年 2018】～さろんスタッフより 新年のごあいさつ～

【1】 予約受付中：1/20 さろん哲学 第89回 テーマ：「<品>をどう感じるのか？」

【2】 予約受付中：1/20 朝さろん〈76〉『青い眼がほしい』 / 〈限局性激痛〉

【3】 準備中：— さろん工房

【4】 近日開催予定 あるばか学校

【5】 開催の報告：12/16 さろん哲学 第88回 テーマ：「振り返る」

【おしらせ】 さろんラボ 企画を募集中です♪

【6】 関連イベント情報

編集後記

CONTENTS

【1】 さろん哲学

第89回 テーマ：「<品>をどう感じるのか？」

第89回さろん哲学を下記のテーマで開催します。

日 時 : 2018年1月20日(土) 15:00-17:00

テーマ : 「<品>をどう感じるのか？」

進 行 : 堀越

会 場 : カフェ・ミヤマ 渋谷公園通り店1号室

参加費 : 1,200円/人 (含 : 会場費・運営費)

定 員 : 16名

▽司会から :

「上品な人」や「あの方には品格がある」等と言うときの<品>とは何か。
それをどう感じるのか。今回は<品>について考えてみたい。

詳細はこちらをご覧ください。

<http://salon-public.com/tetsugaku/>

<https://twitter.com/salontetsugaku>

- 会場は前回と異なりますので、ご注意ください。
- 携帯からメールを送信される場合、お返事のメールが受信できるよう、迷惑メール設定を適切にご変更願います。
- さろん哲学は原則【毎月第3土曜】に開催しています
- さろんのイベントに参加申し込みをされた方には、もれなく毎月メールニュースが配信されます。ご不要の方はさろんの HP <http://salon-public.com/> の末尾のフォームに、その旨ご記入願います

—— 【2】朝さろん/夜さろん ——
朝さろん 〈76〉『青い眼がほしい』 トニ・モリスン/〈限局性激痛〉

先月朝さろん『服従』には10名の方にご参加いただきました。
これまでの開催内容はHP「朝さろんの本棚」から閲覧できます。

<http://salon-public.com/archives/category/033>

【朝さろん】

◆朝さろん 76th morning

『青い眼がほしい』 トニ・モリスン/〈限局性激痛〉

日 時 : 2018年1月20日(土)9:05-12:00 *都合により開催日を変更しています

参加費 : 1500円程度 (ワンドリンク、室料、運営費、資料代込み)

場 所 : 渋谷周辺の会議室利用予定 (ご予約時にご案内いたします)

本 : 『青い眼がほしい』 トニ・モリスン(ハヤカワ epi 文庫)

定 員 : 8名程度 (要予約)

バリスタ (進行) : 芹沢

内 容：

- ・新シーズンです。”限局性激痛”——それは身体部位（胸の奥）を襲う限局性の激しく鋭い痛み。
- ・あらすじ 『誰よりも青い眼にしてください、と黒人の少女ピコーラは祈った。そうしたら、みんなが私を愛してくれるかもしれないから。白い肌やブロンドの髪の毛、そして青い眼。美や人間の価値は白人の世界にのみ見出され、そこに属さない黒人には存在意義すら認められない。自らの価値に気づかず、無邪気にあこがれを抱くだけのピコーラに悲劇は起きた。黒人の少女クロディアが語る、ある友だちの悲劇。マリゴールドの花が咲かなかった秋、クロディアの友だち、青い目にあこがれていたピコーラはみごもった……。——白人が定めた価値観を痛烈に問いただす、トニ・モリスンの鮮烈なデビュー作。』

◆朝さろん 77th morning

『東京プリズン』 赤坂真理／〈限局性激痛〉

日 時：2018年2月12日(祝・月)9:05-12:00 *都合により開催日を変更しています

参加費：1500円程度（ワンドリンク、室料、運営費、資料代込み）

場 所：渋谷周辺の会議室利用予定（ご予約時にご案内いたします）

本 　：『東京プリズン』 赤坂真理(河出文庫)

定 員：8名程度（要予約）

バリスタ（進行）：芹沢

内 容：

- ・”限局性激痛”——それは身体部位（胸の奥）を襲う限局性の激しく鋭い痛み、苦しみ。
- ・あらすじ 『日本の学校になじめずアメリカの高校に留学したマリ。だが今度は文化の違いに悩まされ、落ちこぼれる。そんなマリに、進級をかけたディベートが課される。それは日本人を代表して「天皇の戦争責任」について弁明するというものだった。16歳の少女がたった一人で挑んだ現代の「東京裁判」を描き、今なお続く日本の「戦後」に迫る、日本発の世界文学』

◆朝さろん 78th morning

『侍女の物語』 マーガレット・アトウッド／〈限局性激痛〉

日 時：2018年3月4日(日)9:05-12:00 *都合により開催週を変更しています

参加費：1500円程度（ワンドリンク、室料、運営費、資料代込み）

場 所：渋谷周辺の会議室利用予定（ご予約時にご案内いたします）

本 　：『侍女の物語』 マーガレット・アトウッド(ハヤカワ epi 文庫)

定 員：8名程度（要予約）

バリスタ（進行）：芹沢

内 容：

- ・”限局性激痛”——それは身体部位（胸の奥）を襲う限局性の激しく鋭い痛み、苦しみ。
- ・あらすじ 『ギレアデ共和国の侍女オブフレッド。彼女の役目はただひとつ、配属先の邸宅の主である司令官の子を産むことだ。しかし彼女は夫と幼い娘と暮らしていた時代、仕事や財産を持っていた昔を忘れることができない。監視と処刑の恐怖に怯えながら逃亡の道を探る彼女の生活に、ある日希望の光がさしこむが……。自由を奪われた近未来社会でもがく人々を描く、痛烈な問題作。』

ご予約受付中です。

salontetsugaku@gmail.com (担当：芹沢)

過去の開催内容を HP に掲載しています。

◇朝さろんの本棚 <http://salon-public.com/archives/category/033>

◇夜さろんの本棚 <http://salon-public.com/archives/category/034>

【開催概要】

《朝さろん》第2週の日曜 AM に開催 (場合によって開催週変更の場合あり)

《夜さろん》不定期開催

【3】さろん工房

次回イベントを準備中です

さろん工房では、次回のイベントを準備中です。

現在のところ不定期開催となっておりますが、次回もどうぞお楽しみに。

さろん工房のアーカイブや、ご要望・リクエストはこちらで受付中です。

お気軽にどうぞ。

<http://salon-public.com/koubou/>

salontetsugaku@gmail.com

<https://twitter.com/salontetsugaku>

【4】あるばか学校

今後のプログラム・ラインナップ

あるばか学校からのお知らせです。

現在第2弾、第3弾のイベントを準備中です。温かさを感じる春先に向けて情報をリリースしたいと考えています。

鋭意ブラッシュアップ中ですので、いましばらくお待ちくださいませ。

正式な開催日が決まり次第、メールニュースやHP、Twitter などでご案内いたします。

▼2018年開催予定

【憧れの向こう側へ、見る前に跳べ】

【アーターク！ (ArTalk)】 第2弾

【脳内地びき網 ～あなたの興味、わたしの関心。いろんな違いと出会ってみよう～】

【猫考 ―絵本に登場する猫達を題材に自分の事も考えてみる― (仮)】

どうぞおたのしみに♪

お申込み・お問合せ→ alpaca.gakkou@gmail.com

開催記録など→ <http://alpacagakkou.blog.fc2.com/>

【5】さろん哲学

第88回 テーマ：「振り返る」

第88回さろん哲学を下記のテーマで開催しました。

日 時：2017年12月16日（土）15:00-17:00

テーマ：「振り返る」

進 行：野田

会 場：Under The Mat 中目黒

参加者：15名

▽司会から：

振り返ることによって、過去の経験をどのように受け入れるかについて主に議論した。

近日中にHPに議事録を公開します。

詳細はこちらからご覧ください。

<http://salon-public.com/archives/category/023>

【おしらせ】

さろんラボ 企画を募集中です♪

名称：【さろんラボ】

コーディネーター：【大村】

さろんでは「さろんラボ」を常設しています。

このさろんラボではみなさんの「やってみたい」を核に、「さろん」を触媒にして、どんな化学変化が起きるかを試みる場所です。「さろんラボ」からは、さろんの参加者の手で、以下の2つのイベントがうまれました。

■001 「あたまの中を散歩するてつがくカフェ」

<http://sanpo-tetsugaku.jimdo.com/>

■002 「哲学カフェ Ante-table/アンティテーブル」

<http://ante-table.wix.com/ante-table>

既存の哲学カフェのカタチに限定せず、みなさんの中で温まっている関心ごとやご興味を添えてお気軽に下記までご連絡下さい。

みなさんとの新しい化学変化を、スタッフ一同心から楽しみにしています。

▽詳細はこちらまで

salontetsugaku@gmail.com (担当：大村)

【6】関連イベント情報

哲学カフェ関連イベントやおもしろスポット、その他おすすめ情報をご紹介します

From さろんラボ：001

[あたまの中を散歩するてつがくカフェ] 第31回

ひとりひとりの言葉をじっくりときき、ゆっくりと考えることを大切に活動しているてつがくカフェです。

東京と愛知の両方で開催していますので、参加を検討いただく際にはどちらでの開催か、会場のご確認をお願いいたします。

次回日程が未定のため、決まり次第ウェブサイトとツイッターにてご案内します

運営・進行：くらち

定員：6～8名程度

参加費：無料

※参加には事前の申し込みが必要です

※ご都合にあわせて途中参加や途中退出をしていただいてもかまいません

※当日の詳細は参加申し込みいただいた方へご連絡します

※参加費は無料ですが、会場での飲食代実費は各自ご負担ください

※参加申し込みはウェブサイト内の「申し込みと問い合わせ」フォームから、もしくは sanpo.tetsugaku@gmail.com までご連絡ください(Gmailが受信できる設定をお願いいたします)

ウェブサイト <http://sanpo-tetsugaku.jimdo.com/>

ツイッター https://twitter.com/sanpo_tetsugaku/

お申込み・ご質問 sanpo.tetsugaku@gmail.com (くらち)

From さろんラボ：002

[哲学カフェ Ante-table/アンティ-テーブル] 第14回

哲学カフェ Ante-table は、都合によりしばらくお休みします。
再開の際は本 HP および Facebook にてご案内いたします。
どうぞよろしくお願ひします。

哲学カフェ Ante-table/アンティ・テーブル

HP : <http://ante-table.wix.com/ante-table>

email : cafe.ante.table@gmail.com

(一覧になっているもの)

▽首都圏哲学関連イベントまとめサイト

<http://tokyotetsugakumatome.g.hatena.ne.jp/>

▽もっと自由に「てつがく」したい！対話がメインな東京の哲学カフェまとめ

<http://matome.naver.jp/odai/2136167936080093501>

▽全国各地の哲学カフェ

<http://matome.naver.jp/odai/2138543414370880601>

▽哲学カフェ一覧

<http://www.135.jp/lite/>

▽東京で行われている読書会まとめ

<http://matome.naver.jp/odai/2135489489421994201>

▽第 17 回 東京メタ哲学カフェ

東京メタ哲学カフェは、哲学カフェ・哲学対話の運営に関心がある人たちが集まって、情報交換や対話をしています。

日時：平成30年1月14日（日） 13時30分～17時

場所：新宿消費生活センター分館 会議室

(高田馬場駅戸山口から徒歩2分、山手線、西武新宿線、東西線)

<http://consu.shinjuku-center.jp/Access>

参加費用：500円

テーマ：哲学カフェの「楽しさ」、「楽しさ」の哲学

進行役：新妻弘悦 (哲学カフェ@神保町)

事前予約：メールで本間まで mgasami.honma@gmail.com

定員：12名 (最少催行人員4名)

詳細：詳しくは「東京メタ」で検索を。

<https://mgasamihonma.wixsite.com/tokyometa>

<https://www.facebook.com/tokyometa/>

*東京メタ哲学カフェは原則として毎月第一日曜日の午後に開催しています。
(1月は第二日曜日に開催します。)

▽1/21 (日) 第3回 Kavli IPMU/ELSI 合同一般講演会「起源への問い」

<http://www.ipmu.jp/ja/2018origin>

日 時： 2018年1月21日(日) 13:00-16:40 (12:30 開場)

会 場： 東工大蔵前会館 くらまえホール

大岡山駅(東急大井町線・目黒線)下車 徒歩1分

対 象： 高校生以上

参加費： 無料

定 員： 300名(応募多数の場合は抽選となります)

申 込： <http://www.ipmu.jp/ja/2018origin>

※1月18日申込締切

通 知： 応募多数の場合は抽選となります。決定の通知は1月19日にご連絡いたします。

主 催： 東京大学国際高等研究所カブリ数物連携宇宙研究機構

東京工業大学地球生命研究所

問合せ： Email: koukai-kouza@ipmu.jp (Kavli IPMU 広報)

*_at_を@に変えてお送りください

▽1/20 (土) 双子のライオン堂1日学校イベント

9:45 ショートホームルーム (自己紹介)

10:00-10:45 一時間目 数学(中学校の数学) 講義

10:55-11:40 二時間目 国語(連句会) 演習

11:50-12:35 三時間目 美術(芸術村の歴史) 講義

給食

13:30-14:15 四時間目 理科(香りの抽出) 実験 準備10分

14:15-15:00 五時間目 理科(香りの抽出) 実験 片付け30分

15:10-15:30 ショートホームルーム (一日の感想)

15:30 下校(部活に参加しない場合は下校)

16:00-18:00 放課後 部活動(文芸部、自由参加)

18:00 完全下校

<http://ptix.at/ZvInUb>

▽2/3(土)15:30~『文学問題(F+D+)』(山本貴光)読書会

双子のライオン堂

<http://ptix.at/RX7CLl>

▽『ソクラテック・ダイアログ 対話の哲学に向けて』(シリーズ臨床哲学4),大阪大学出版会

<http://www.osaka-up.or.jp/books/ISBN978-4-87259-604-5.html>

- ▽『なぜと問うのはなぜだろう』吉田夏彦 (ちくまプリマー新書)
<https://www.amazon.co.jp/dp/4480689907/>
- ▽『子どもたちの未来を拓く探究の対話「p4c」』p4c みやぎ・出版企画委員会,東京書籍
<https://www.amazon.co.jp/dp/448781071X/>
- ▽『哲学がわかる 形而上学』スティーヴン・マンフォード、岩波書店
<https://www.amazon.co.jp/dp/4000612409/>
- ▽『哲学がわかる 因果性』スティーヴン・マンフォード、ラニ・リル・アンユム、岩波書店
<https://www.amazon.co.jp/dp/4000612417/>
- ▽『哲学がわかる 自由意志』トーマス・ピンク、岩波書店
<https://www.amazon.co.jp/dp/4000612425/>
- ▽哲学プラクティス連絡会
<http://philosophicalpractice.jp/>
- ▽カフェフィロ
<http://www.cafephilo.jp/>
- ▽てつがくカフェ@せんだい
<http://tetsugaku.masa-mune.jp/>
- ▽てつがくカフェ「医療とケアを問い直す」
<http://sinemasamune.blog.fc2.com/>
- ▽NPO 法人こども哲学おとな哲学アーダコーダ
<http://ardacoda.com/>
- ▽人生カフェ
詳細：詳しくは「人生カフェ」で検索を。
<http://tokyojinseigakuin.cocolog-nifty.com/blog/>
- ▽ねりまの哲学対話“ねりテツ”
<http://msentalife.wixsite.com/entalife>
『わわわの話』
<http://msentalife.wixsite.com/entalife/blank-12>
- ▽竹林茶話会 哲学 Cafe@柏
<https://www.facebook.com/chikurinsawakai/>

▽Core Talk Cafe おとなのためのてつがくカフェ

<http://www.coretalkcafe.jp/index.html>

▽はなこ哲学カフェいどばたのいどほり

<https://www.facebook.com/hanakophilosophycafe/>

▽対話の実験室@公差転

<http://kosaten.org/taiwa/>

▽対話カフェ Tokyo～Yokohama

<https://taiwa-cafe.jimdo.com/>

▽デモクラシーCafe@東村山

http://blog.livedoor.jp/pieru80-democracafe_higashimurayama/

▽読書と対話の会

<http://love.link/pg47.html>

▽クルミドの朝モヤ

<http://ameblo.jp/kurumed/>

▽小金井哲学カフェ

<http://koganei-philosophycafe.blogspot.jp/>

▽高千穂大学哲学研究会パイディア

<https://paideiatakachihophilosophy.wordpress.com/>

▽UTCP (東京大学大学院総合文化研究科・教養学部附属「共生のための国際哲学研究センター」)

<http://utcp.c.u-tokyo.ac.jp/>

▽P4C-japan

<http://p4c-japan.com/>

▽クラリスブックスの読書会 | 東京下北沢の古本屋

<http://blog.clarisbooks.com/2014/07/15/2696>

▽読書会ガイブンキョウク

<https://twitter.com/gaibunkyoku>

▽京都・大阪市民読書会

<http://kyotobookclub.blog.fc2.com/>

▽原稿の推敲・校正・リライトを支援する3つの文章チェックツールを作りました！

<http://tokimaki.hatenablog.com/entry/2016/10/23/160512>

▽『社会にとって趣味とは何か』北田暁大・解体研 [編著]

<http://web.kawade.co.jp/bungei/1262/>

▽マインドフルネス瞑想

ティク・ナット・ハン『愛する』

<http://web.kawade.co.jp/bungei/1325/>

▽ヨコハマ読書倶楽部

<https://yokohama-dokusho.jimdo.com/about-us/>

▽本 の 場 所 (表参道)

著者自身による小説の朗読会／参加料金1000円

<http://www.honnobasyo.com/>

編 集 後 記

メールニュース第106号をお届けします。

ことし最初のメールニュースをお送りします。

冒頭でもお伝えしましたが、たなかさんがスタッフを卒業されました。

個人の立場からご自身の実力を試したい——そう力強く話されていたのが印象的でした。

1年半という期間さろんの内側からいろんなカタチで協働をしていただきました。

哲学プラクティス連絡会でのパネラー参加、あるばか学校「アートーク！」のプロデュース、メールニュースへの寄稿や多種多様なサポートなど。

そうした各種のコミットメントを経てご自身のやりたいことがよりクリアになってきた。——そういうことなのだとおもいます。

トライ&エラーを繰り返すなかで掴んだもの。

それを大切に根付かせ、育て、実を結ばせる。

場所は異なってもやっている本質は同じなのかもしれません。

だからこそ通じ合えることもあるのだとおもいます。

さあ、あたらしい年のスタートです。

お正月なのでいつもより意気軒昂、気力旺盛に、

口角上げてはりきって参りましょう！

ことしもさろんをよろしくどうぞ♪

それではまた次号でお会いしましょう。ホウ。

編集: (フクロウ)

さろん | Mail News 2018/1/1

⇒次号 (1月15日発行予定)

さろん Mail News 第106号 / 2018年1月1日発行【イベント号】

編集・発行: さろん

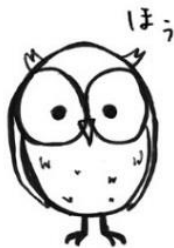
salontetsugaku@gmail.com

<http://salon-public.com/>

<https://twitter.com/salontetsugaku/>

<https://www.facebook.com/salontetsugaku/>

-
- ◇ 「さろん」にお知らせいただいたお名前・メールアドレスなどの個人情報は、当会からのご案内のためだけに使用いたします。
また、ご本人の同意なく第三者への提供はいたしません。
 - ◇ 「Mail News」の無断転載はご遠慮ください。転載ご希望の場合はご連絡願います。
バックナンバーはHPからご覧いただけます。
 - ◇ 【Twitter】 <https://twitter.com/salontetsugaku>
 - ◇ 【Facebook】 <https://www.facebook.com/salontetsugaku/>
 - ◇ 【ホームページ】 <http://salon-public.com/>
 - 「さろん哲学」Web サイト <http://salon-public.com/tetsugaku/>
 - 「朝さろん」 Web サイト <http://salon-public.com/asa/>
 - 「さろん工房」Web サイト <http://salon-public.com/koubou/>
 - 「あるばか学校」blog <http://alpacagakkou.blog.fc2.com/>



"copyright (c) 2011-2018 さろん. All rights reserved."
